

Japan-YWP第9回（2018年度）総会

Japan National Young Water Professionals (Japan-YWP) は、International Water Association (IWA) 日本国内委員会 (IWAの日本支部) の下部組織として、2010年3月5日に設立されました。Japan-YWPは、日本水環境学会、日本水道協会等と密接な連携をとりながら、上下水道・水環境に関連する分野の学術的研究・知識の普及・水環境保全への積極的な貢献を目的とした若手中心の組織です。教育・研究機関、官公庁・自治体、民間企業に所属する水関連の若手が広く集まることで、分野・職種間の交流を促進し、水問題に関する様々な情報交換を行うプラットフォームを構築しています。また、他国のYWPとも交流を行うことで、若手の国際ネットワークを広げております。

本年度、Japan-YWPは第5期（2018-2019年度）運営委員の新体制となりました。本年度はメーリングリストやニュースレター、フェイスブック等を通じて情報発信に努めてきました。2018年9月に開催されたIWA世界会議においては「Post SDGs Future Vision Call」を開催したほか、次世代を担う高校生を主役としたワークショップの開催に携わるなど、活動の幅を広げてイベントを企画して参りました。また、今後は活動範囲も広げて、東京以外の地域においてもイベントを開催していきたいと考えております。

本年度の活動報告および来年度の予定等に関してご報告させていただきます。

2018年度の活動報告

総務関連

1) 会員現況 (2019年1月12日時点)

会員数：456名（2018年12月から+33名） 平均年齢：33.7歳（同-0.5歳）
所属別の割合...官公庁・事業体：19.1%（同-1.5%）、民間43.9%（同+2.1%）、教育機関（大学・研究機関）：37.1%（同-0.5%）。

《入退会の状況》

- ・ IWA世界会議の前後に（特に若手の）入会が多かった。
- ・ 官公庁・事業体の会員数が減る傾向がここ数年続いている。官公庁・事業体は異動後の登録変更がなく、メーリングリスト不通者が多くなっている。（メールアドレス自体が使用していない状況であるため、連絡の取りようがないのが現状）

2) メーリングリストの管理

所属変更などに伴いML配信エラーとなる会員が見られる（学生、自治体関係者に多い）。そのため、以下の対応を行う。

- ・ 配信エラーが3回あったメールアドレスへはMLの配信を停止し、一定期間ごとにMLから削除する。（メールアドレスを更新した場合に備え、会員名簿の情報は削除しない。）
- ・ 年度末に、年度始めから所属や連絡先が変更になった場合の登録変更手続きに関する連絡をする。

3) メーリングリストの投稿規定

投稿規定を別紙案のように定め、ホームページに掲載する。また、会員登録時の通知メールにリンクを記載する。

4) 登録情報の項目変更

会員入会時の登録情報を以下のように変更します。（案）

- ・ メールアドレス* ・ 氏名* ・ よみ*
- ・ 所属、所属区分 ・ 生年* ・ 在住地域
- ・ 関心対象+ ・ 専門領域+ ・ IWA会員

（太字は修正項目、*は必須項目、+は複数選択可）

5) Japan-YWP活動費 経理報告

Japan-YWPでは、2011年11月にIWA-ASPIRE組織委員会より、活動費として2,017,306円の補助を受けた。IWA日本国内委員会の承認を受け、Japan-YWP運営委員（総務担当）が本活動費の経理を担当し、Japan-YWP専用口座に移管し、以降の活動費や運営費としている。

・2018年度（1月～12月）の経理状況

収入	
前年度繰越金	¥418,148
水システム国際化研究会からの助成金※ ¹	¥300,000
西原育英文化事業団からの助成金※ ²	¥2,000,000
高校生ワークショップ謝礼金	¥14,400
ウィークエンドセミナー繰越金	¥22,544
利息収入	¥6
合計	¥2,755,098

※1 Water Wise関連イベントで使用

※2 Water Wise関連イベント、IWA世界会議関連イベントで1,000,000円ずつ使用

支出	
メーリングリスト維持費	¥12,700
ホームページ維持管理費	¥38,616
Water Wise関連イベントによる支出	¥1,308,399
IWA世界会議関連イベントによる支出	¥997,840
雑費（振込手数料等）	¥2,376
合計	¥2,359,931

資金残高の推移	
移管資金 期首残高	¥418,148
次期繰越活動増減差額	¥△22,981
移管資金 期末残高（2018年12月31日現在）	¥395,167

広報関連

- 1) ニュースレター発行（第16,17号）
- 2) ポスターリニューアル・配布
- 3) ホームページリニューアル

- ・英語版ホームページの開設
- ・イベント広報+情報更新

4) Facebook活用

- ・イベント広報+イベントごとにバナー（下図）を作成するなど活用方法を改善
- ・2019年1月8日現在、107人がフォロー（前年比+64人）



企画関連

表に、2018年度のJapan-YWP関連のワークショップ等の実施状況を示す。国内イベント14件、国際イベント2件の計16件を主催・開催協力した（予定を含む）。

2018年度のJapan-YWPのワークショップ等

時期	ワークショップ・セミナー（場所/言語）
2018.5.26	Japan-YWPワークショップ「水×SDGs—変革のための道しるべを探す—」（東京/日本語）

2018.6.27	第8回イブニングセミナー（東京/日本語）
2018.6.30	第1回「水×SDGs」勉強会（東京/日本語）
2018.7.10	第9回JWRC水道講座（東京/日本語、開催協力）
2018.7.14	Japan-YWP第7回国際シンポジウムーキャリアアップに向けた留学経験の共有ー（WET2018）（愛媛/英語）
2018.8.18	第2回「水×SDGs」勉強会（東京/日本語）
2018.9.17	Japan-YWP workshop 「Post SDGs Future Vision Call」（IWA世界会議）（東京/英語）
2018.9.17	水の未来を考える高校生ワークショップ(IWA世界会議サイドイベント、東京/日本語）
2018.10.8	第3回「水×SDGs」勉強会 ～SDGsから見る、水道事業者の目標・指標の現状～（東京/日本語）
2018.10.19	第10回JWRC水道講座（大阪/日本語、開催協力）
2018.11.3	Japan-YWP ウィークエンドセミナー ～水業界の将来を考える～（東京/日本語）
2018.11.28	第9回イブニングセミナー～フランスにおける財政制度とPPP等について～（東京/日本語）
2019.1.19	Japan-YWP第9回総会兼セミナー（東京/日本語）
2019.2.6	第11回 JWRC水道講座（東京/日本語、開催協力）
2019.2.23	水の未来はどこへ向かうか-2050年に求める世界-(仮)（京都/日本語、Water Loop 共同開催）
2019.3.7	YWPセミナー～山梨の火山と湧水・地下水～（水環境学会年会）（山梨/日本語）

2019年度の活動予定

企画関連

- JWRC水道講座（東京/関西、日本語）
 - Japan-YWP国際シンポジウム（水環境学会WET2019）（2019年7月、大阪、英語）
 - Japan-YWP総会兼セミナー（2020年1月頃、東京、日本語）
 - 日本水環境学会でのJapan-YWPセミナー（2020年3月、日本語）
 - SDGs勉強会（時期未定）
 - ウィークエンドセミナー（時期未定）
 - イブニングセミナー（時期未定）
- 等

参考資料：第5期運営委員（2018-2019年度）

代表	浅田安廣（国立保健医療科学院）
副代表	鈴木裕識（土木研究所） 籠田大介（埼玉県） 池田直生（JFEエンジニアリング株式会社）
総務委員	平野実晴（神戸大学） 岡崎篤（日本水道協会） 鈴木知美（国立保健医療科学院） 雪岡聖（京都大学、学生委員）
企画委員	村田道拓（日水コン） 端昭彦（東京大学） 大石若菜（日立造船株式会社） 渡利高大（長岡技術大学） 伊藤万葉（内閣府） 長尾麻未（株式会社NJS） 藤木一到（メタウォーター株式会社） 山口里奈（東京大学、学生委員） 平片悠河（長岡技術大学、学生委員）
広報委員	栗田宗大（電力中央研究所） 加藤雄大（清水建設株式会社）

	片山佳奈子（八千代エンジニアリング株式会社） 山梨由布（群馬大学、学生委員） 濱田祐綺（中央大学、学生委員）
戦略委員	北島正章（北海道大学） 橋口亜由未（島根大学）
アドバイザー	古米弘明（東京大学大学院工学系研究科附属水環境制御研究センター教授） 市村敬正（公益社団法人日本水道協会研修国際部長） 石井宏幸（国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業調整官）

メーリングリスト投稿規定（案）

1. メーリングリスト（ML）について

Japan-YWPの会員は、原則MLにメールアドレスを登録いたします。このMLは運営関係の連絡や会員間の情報共有の目的で使用します。

なお、一定期間、メールをお届けできない場合は、メールアドレスのご登録を解除させていただきますことでもありますので、ご了承ください。

2. ご利用方法

- 1) 運営委員宛てにメールをお送りいただくか、直接、Japan-YWP入会時にご案内したメールアドレス（ML送信元と同じアドレス）にお送りください。なお、直接の送信は、会員登録メールアドレスからのみ可能です。
- 2) メールに添付されたファイルは、メールと一緒に配信されず、ファイルへのリンクがメール本文の一番下に追加されます。
- 3) 添付ファイルを含めたメールの最大サイズは5000kbです。これより大きいファイルはファイル送付サービス等をご利用ください。
- 4) ML退会は下記アドレス又はJapan-YWPのウェブサイトより行ってください。

URL：

3. ご利用にあたってのルール（注意）

送付にあたり、下記の点にご留意頂きますようご協力をお願いいたします。

- 1) メールテキスト形式で送信し、機種依存文字は避けてください。大勢の方が閲覧しますので、どなたでも読めるようにご協力をお願いいたします。
- 2) イベント等の詳細が記載されたURLを記載する際は誤りがないか、いま一度ご確認ください。
- 3) 件名は本文内容に沿ったものを的確につけてください。
例：【告知】【情報提供】等
- 4) セミナー等の情報提供を行う際は下記を参照し、必要事項を網羅するようにしてください。
 - ・セミナーや勉強会の趣旨
 - ・開催場所、日時
 - ・参加、申し込み方法
 - ・対象者（参加に条件がある場合）
 - ・費用（必要に応じて）
 - ・送信者の身分、連絡先
 - ・詳細URL又はPDF*

* データ容量は、2. ご利用方法3)を参照してください。
- 5) MLで送付されたメールに返信すると、登録されている会員全員にメールが送付されます。質問等がある場合必要に応じて、アドレスを直接入力してください。
- 6) 送付内容や書き方について不安がある場合は、運営委員までご相談いただければ幸いです。

連絡先：

4. 禁止事項

MLでは、以下の項目について厳守してください。万が一トラブルが発生した場合は、原則的に個人の間で解決をお願いします。ML全体の問題と考えられるものについては、運営委員で協議いたします。

禁止事項に該当する投稿がなされると運営委員が判断した場合、運営委員より投稿者に対して注意を促すことがあります。また、内容が悪質なものとみなされた場合には、メンバー登録を抹消することもあります。

< 絶対的禁止行為（次の行為は絶対にしないでください） >

- 1) 公序良俗、法令違反行為を目的とした利用
- 2) 犯罪的行為にむすびつく利用
- 3) 他者の著作権、財産、プライバシーの侵害
- 4) 他者の誹謗、中傷
- 5) 企業秘密など第三者に迷惑のかかる恐れのある情報の発信

6) 特定の宗教や政治団体への勧誘行為
7) その他本会が不相当と認めた事項
以上